

にじのへやだより

令和4年11月発行

(vol.4)

病児保育室にじのへや

蕨市病児・病後児保育事業



朝夕の冷え込みに、冬の気配を感じる季節になりました。

季節の変わり目は体調を崩しやすく、インフルエンザやノロウイルスなどの感染症も流行します。

今年は特に、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの「同時流行」が心配されるので、予防接種や手洗い・うがい・アルコール消毒を徹底し、感染予防に努めましょう。

また、本格的な冬が来る前に生活リズムを整えたり、服装、食生活なども見直し、感染症や寒さに負けない健康な体を作っていきます。



9月
利用者数
15名

9月〈利用内訳（年齢別）〉15（名）登録者数157（名）

0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	学童
0	0	12	2	1	0	0	0

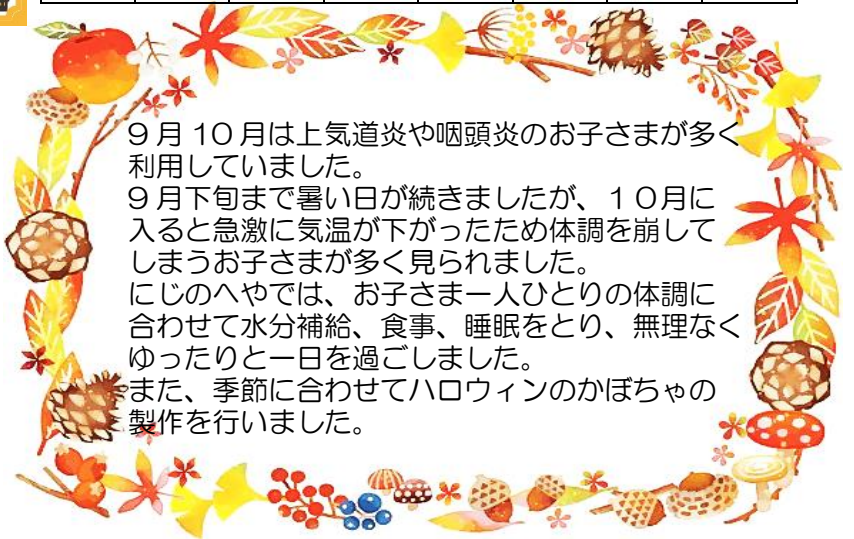
10月
利用者数
6名

10月〈利用内訳（年齢別）〉6（名）登録者数161（名）

0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	学童
0	0	1	5	0	0	0	0

利用児童の疾患

- 1、上気道炎 15名
- 2、咽頭炎 2名
- 3、手足口病 2名
- 4、急性胃腸炎 2名



9月10月は上気道炎や咽頭炎のお子さまが多く利用していました。

9月下旬まで暑い日が続きましたが、10月に入ると急激に気温が下がったため体調を崩してしまうお子さまが多く見られました。

にじのへやでは、お子さま一人ひとりの体調に合わせて水分補給、食事、睡眠をとり、無理なくゆったりと一日を過ごしました。

また、季節に合わせてハロウィンのかぼちゃの製作を行いました。

保育の様子☆

大好きなプラレールをつなげてがたんごとん！他にもおもちゃがたくさんあるよ！



お家から持ってきたお気に入りのおもちゃで遊ぶこともあります。安心できるね😊



昼食では、ひとりひとりの体調に合わせてゆっくり食事をしています。



10月はハロウィンのかぼちゃの製作をしました。かぼちゃに目や口をのりで貼り、様々な色のシールを貼ってかわいく仕上げました♡



インフルエンザ予防接種の季節です



新型コロナウイルス感染症が流行しているここ2年間はほとんどみられなかったインフルエンザ感染。

これは、新型コロナ対策として普及した手指衛生やマスク着用、3密回避等の感染対策が、インフルエンザの予防にも効果的であったためと考えられています。

しかし南半球では、オーストラリアで今年4月末頃からインフルエンザ感染者数の増加がみられています。

そのため日本でも、今年はインフルエンザが流行する可能性があると言われていました。

インフルエンザ感染予防には、ワクチン接種が有効です。子どもはインフルエンザに感染すると、気管支炎や肺炎で入院したり、まれにインフルエンザ脳症を起こすことがあります。最近2年間インフルエンザの流行がなかったため、特に小さな子どもは免疫が低下していると思われ、ワクチン接種はとても重要と考えられます。

また、手洗い・うがい、規則正しい生活、栄養バランスのとれた食事、インフルエンザ予防にとっても大切です。

秋～冬も、感染予防に気をつけて元気に過ごしましょう！



予防接種 Q&A

Q.どの予防接種を優先して受ければよいですか。

A.ワクチンには、それぞれに接種できる月齢や年齢が決まっています。この接種年齢は、VPD（ワクチン接種で防げる病気のこと）にかかりやすい時期と、ワクチンを安全に接種でき、高い効果が得られる年齢を考慮して決められています。



ワクチンは、受けられる時期が来たら、すぐに接種しましょう。また、「同時接種」といって、一度に2種類以上ワクチンを接種できる場合があり、効率よく免疫をつけることができるためおすすめです。

詳しくは、かかりつけ医にご相談ください。

Q.インフルエンザの予防接種の予約がなかなか取れません。いつ頃までに接種すればよいですか。

A.インフルエンザは例年12月～4月頃に流行し、例年1月末～3月上旬に流行のピークを迎えるので12月中旬までにワクチン接種をすることが望ましいです。

Q.以前予防接種を受けたのにインフルエンザにかかったことがあります。ワクチンが効いていないのではないのでしょうか。今年も接種した方がよいですか。

A.ワクチンの予防効果は6割ほどであり、接種することでインフルエンザを完全に予防することはできません。しかし、ワクチン接種が重症化を防ぐことは明らかになっているので、毎年予防接種を受けましょう。



感染性胃腸炎にご注意！！

ノロウイルスやロタウイルスは吐気や嘔吐、下痢、腹痛などの症状が見られ発熱する場合があります。下痢や嘔吐がある場合は早めに病院で診てもらい、脱水症状にならないよう、こまめな水分補給を心がけましょう。

また、吐瀉物にはウイルスが含まれており、家族にも感染しやすいため適切な処理が必要となります。

汚れた衣類は…

85℃の熱湯に1分以上浸けるか、次亜塩素酸ナトリウム系漂白剤を薄めた物で消毒しましょう。



消毒ができれば洗濯機に入れても大丈夫です。



汚れた場所もしっかり消毒を行いましょう。

